

第 13 章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約 300m、さかい川の谷頭部から約 1,500m 下った右岸に位置し、標高 12 ～ 16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。本遺跡の最初の調査は 1987 年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2010 年 3 月現在 36 地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

II 神明後遺跡第 33 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅及び個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 3 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 4 月 25 日から同年 5 月 16 日まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 4 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土プランを検出した。遺構の性格を確認するためさらに一部を掘り下げ確認したところ、縄文時代の落とし穴、近世以降の井戸、土坑、ピット、溝等であった。確認面まで 80 cm を測るが、建築による遺構への影響がないため工事立会いとした。写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 96 図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

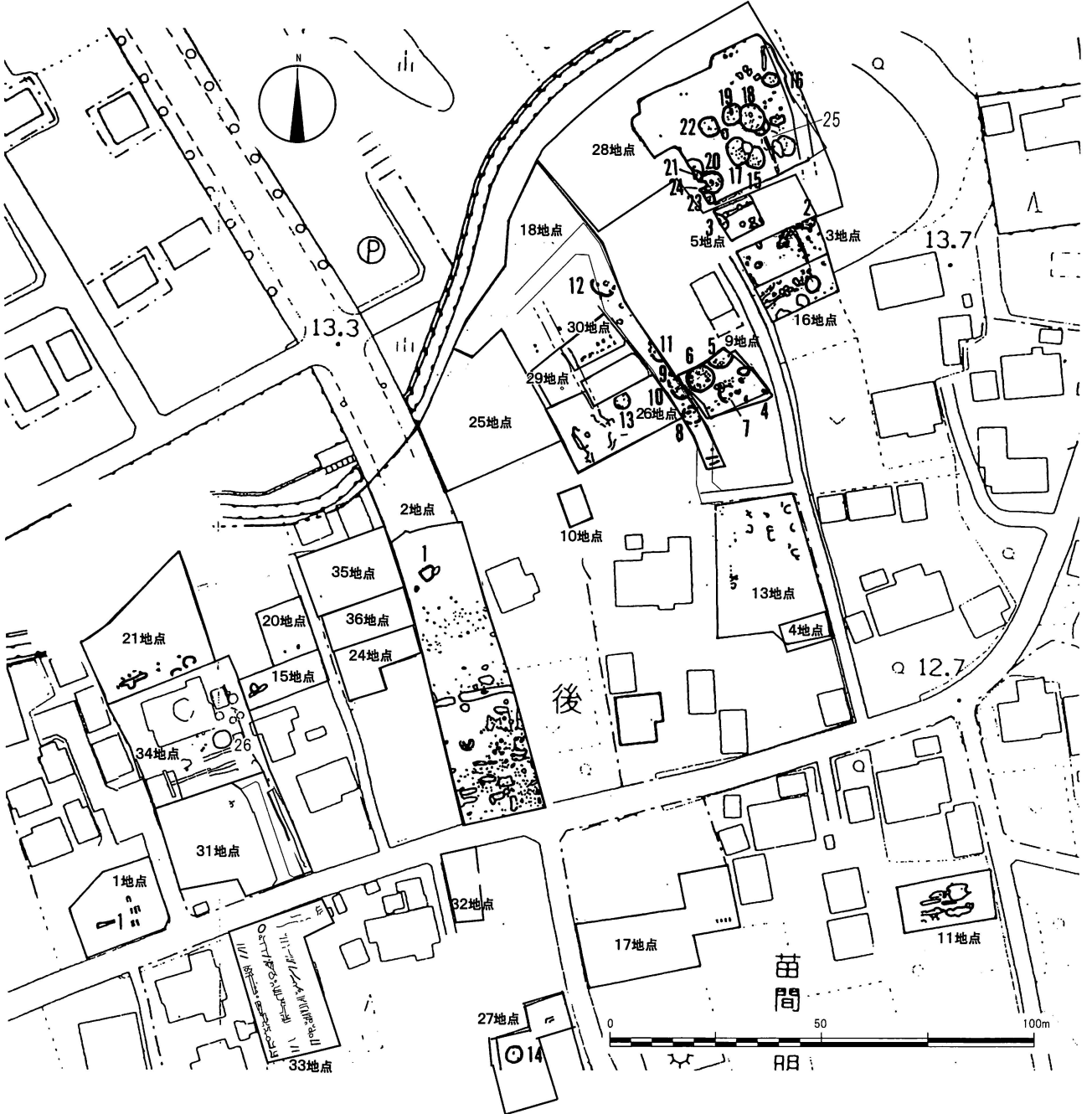
第 47 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6 ~ 11	615	共同住宅	遺構無し、平安時代須恵器片、陶器片	町内遺跡群Ⅲ
2	苗間 295-2,299-3	1993.5.12 ~ 20	1,688	道路築造	落とし穴 1、平安住居跡 1(H1 号)、縄文土坑 1、中・近世掘建柱建物跡、地下式竈 1、井戸、堀	町内遺跡群Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24 ~ 29) 1995.4.3 ~ 5.19	200	分譲住宅	縄文住居跡 1(2 号)、伏襲 2、埋襲 1、土坑 2、ピット 34 他	町内遺跡群Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17 ~ 19)	703	物置	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15 ~ 4.2	80	個人住宅	縄文住居跡 1(3 号)、土坑 5、溝、他 縄文中期後半～後期初頭	町内遺跡群Ⅵ
6	苗間 255,227-2	(1997.9.29 ~ 30)	150	個人住宅	土坑 1、土器片・石器片	町内遺跡群Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1 ~ 2)	1,460	個人住宅	近世地下室 1	町内遺跡群Ⅷ
8	苗間 235-1	(1998.7.13 ~ 24)	458	共同住宅	集石土坑 1、土坑 2、ピット 40、柵列 1、溝	町内遺跡群Ⅷ
9	苗間 310-1	(1998.9.1 ~ 11) 1998.9.14 ~ 10.15	219	共同住宅	縄文住居跡 4、集石土坑 1、落とし穴 1、縄文土坑 2、近世土坑 1、井戸 2、地下室 1、ピット 33	町内遺跡群Ⅷ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22 ~ 26	239	個人住宅	土坑 17、ピット 7	町内遺跡群Ⅸ
12	苗間 282-2,5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17 ~ 19)	694	個人住宅	土坑 12、ピット	町内遺跡群Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18 ~ 23)	357	共同住宅	土坑 1、近世掘建柱建物跡 1、溝 2、井戸 1、柵列、ピット 38	町内遺跡群Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12 ~ 13	163	個人住宅	集石土坑 1 (阿玉台期)	町内遺跡群ⅩⅠ
16	苗間 309-14	(2001.7.23 ~ 24) 2001.7.25 ~ 9.3	165	個人住宅	縄文屋外埋襲 4、土坑 13、溝 2、地下式竈 1、地下室 1、竪穴状遺構 1、ピット 38	町内遺跡群ⅩⅠ
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	個人住宅	近世溝	町内遺跡群ⅩⅠ
18	苗間 304-1,303-6	(2002.5.15 ~ 25) 2002.5.27 ~ 6.21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡 5(8 ~ 12 号)、土坑、古代・中世堀跡	町内遺跡群ⅩⅡ
19	苗間 264-4	(2002.9.18 ~ 20)	216	個人住宅	根切溝、溝 4	町内遺跡群ⅩⅡ
20	苗間 293-11	(2003.1.14 ~ 15)	143	個人住宅	中・近世溝 2、ピット 2	町内遺跡群ⅩⅡ
21	苗間 283-1	(2003.1.10 ~ 30)	674	土地造成	ピット 7、井戸 1、近世地下室 2、土坑 1	町内遺跡群ⅩⅡ
22	苗間 235-2,3	(2003.7.8 ~ 29)	430	分譲住宅	井戸 1、土坑 10、ピット 38、江戸後期陶磁器	町内遺跡群ⅩⅡ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室 1、銭貨	町内遺跡群ⅩⅡ
24	苗間神明後 293-4,10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148	個人住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅡ
25	苗間 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅡ
26	苗間神明後 301,303-3,303-4,303-5,304-1,303-7	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡 1(13 号) 中世地下式竈、近世土坑 5、溝	調査会報告 18 集
27	苗間 248-2,249-1	2005.7.20 ~ 25 2005.7.27 ~ 29	385	共同住宅	縄文中期住居跡 1(14 号)	調査会報告 18 集
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡 11(15 ~ 25 号)、集石 23、土坑 5、落とし穴 1、竪穴 3、ピット、溝 4、古代・中世堀跡 1	市内遺跡 3
29	苗間神明後 303-21,24	(2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19	136	個人住宅	ピット 1、古代・中世堀跡 1	市内遺跡 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 19	101	個人住宅	ピット 12	市内遺跡 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	個人住宅	土坑 2	市内遺跡 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代掘乱	市内遺跡 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	298	個人住宅	落とし穴 1、中世以降溝 6、井戸 2、土坑 38、ピット 16	市内遺跡 6
33b	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	357	分譲住宅		市内遺跡 6
34	苗間字神明後 283-1,284-1 の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡 1(26 号)、落とし穴 1、集石 3、ピット	市内遺跡 5
35	苗間字神明後 293 番 6,20	(2008.8.1)	247	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	ピット 1	市内遺跡 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15 ~ 30	120	個人住宅	縄文後期住居跡 1	未報告
38	苗間字神明後 293-1,292-13	(2009.7.6 ~ 14)	265	個人住宅	中近世溝 1	未報告
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1	378	共同住宅	中～近世溝 2、ピット 28、落とし穴 1	未報告
40	苗間 309-1	(2009.11.9 ~ 18) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑 1、中世地下式竈 2、井戸 1、竪穴状遺構 1、土坑 9	未報告
41	苗間字神明後 298-1,299-1 の各一部	(2010.5.25 ~ 31) 2010.6.15 ~ 7.21	486	共同住宅	縄文時代集石土坑 1、中世の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構 16、溝 5、木炭窯 1、ピット 214、本調査 (140 ㎡)	未報告
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1 ~ 2)	312	宅地造成	遺構・遺物無し (隣接地)	未報告
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世期ピット 7、本調査	未報告

第 48 表 神明後遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 率	平面形 () は 推定	規模	が			埋 張	壁 溝	備考	時期	文献
				地 床	埋 設	石 開					
1号	10%	(円形)	不明	未掘				○	中世土塁の下	加曾利 E II	大井町史 資料編 1
2号	65%	(円形)	不明×435×16	○	○		有		土坑と複合	加曾利 E IV、 埋壁も E IV	町内道路群 VI
3号	45%	(円形)	410×不明×30			○	有		北平未掘	加曾利 E II 新	町内道路群VI
4号	15%	不明	不明			○	不明	○	掘乱著しい	加曾利 E II 中	町内道路群VII
5号	45%	(円形)	565×7×33	○			有		東北側未掘	加曾利 E II 新	町内道路群VII
6号	95%	円形	586×542×45	○	②		②	有・ 建替	並張と建替各 2	加曾利 E (断古相)	町内道路群VII
7号	70%	円形	不明×498×18	○		○	不明		東南部床まで削平	加曾利 E I 新(相)	町内道路群VII
8号	70%	(円形)	580×?			○	不明		床面掘乱	加曾利 E I	調査会報告 16 集
9号	50%	(不整形)	(490×270)	未掘			有	○	10号に切られる	(加曾利 E I 新 新相)	調査会報告 16 集
10号	50%	不明	(300×250)×50	未掘				○	9号を切る	曾利Ⅲ式	調査会報告 16 集
11号	40%	(不整形)	(490×?)×55	未掘				○	貼床	加曾利 E II	調査会報告 16 集
12号	70%	(不整形)	(570)×550×80	○				○		加曾利 E III	調査会報告 16 集
13号	完掘	隅丸方形	343×370×13		○	○				加曾利 E I	調査会報告 18 集
14号	完掘	円形	404×403×20	○					2 本柱のみ	阿玉台 II	調査会報告 18 集

住居 番号	調査 率	平面形 () は 推定	規模	が			埋 張	壁 溝	備考	時期	文献	
				地 床	埋 設	石 開						
15号	完掘	円形	573×499×35				②			人 I に張り出し有、 17 住を増める	加曾利 E III	市内道路群 3
16号	完掘	隅丸方形	338×337×25	②			○				加曾利 E II 新	市内道路群 3
17号	完掘	隅丸長 方形	684×525×70	②			○	有	○	並張 3.15 住に切 られる	加曾利 E I 新	市内道路群 3
18号	完掘	隅丸方 形	608×600×90	○		△	○	○		石開いの可能性有、 19 住に切られる	加曾利 E I 新	市内道路群 3
19号	完掘	隅丸長 方形	476×448×60	②		△				石開いの可能性有、 18 住を切る	加曾利 E II~III	市内道路群 3
20号	完掘	隅丸方 形	473×483×28			○				人 I 近くに配石、 伏襲	加曾利 E II	市内道路群 3
21号	40%	(隅丸)	?×?×10	○				○		20、24 住より古い	加曾利 E I 新	市内道路群 3
22号	完掘	隅丸五 角形	491×513×113	○				○			加曾利 E I 新	市内道路群 3
23号	25%	不明	?×?×21	②		△				石開いの可能性有 20 住より古、 24 住より新	加曾利 E II	市内道路群 3
24号	10%	不明	?×?×55	未掘				○		20、24 住より古、 21 住より新	加曾利 E	市内道路群 3
25号	完掘	不明	(500×400)×5	○			○				加曾利 E II 新	市内道路群 3
26号	完掘	隅丸長方 形	585×486×31	○						土坑より新、 落とし穴より旧	加曾利 E III	市内道路群 5



第 97 図 神明後遺跡遺構分布図 (1/1,500)

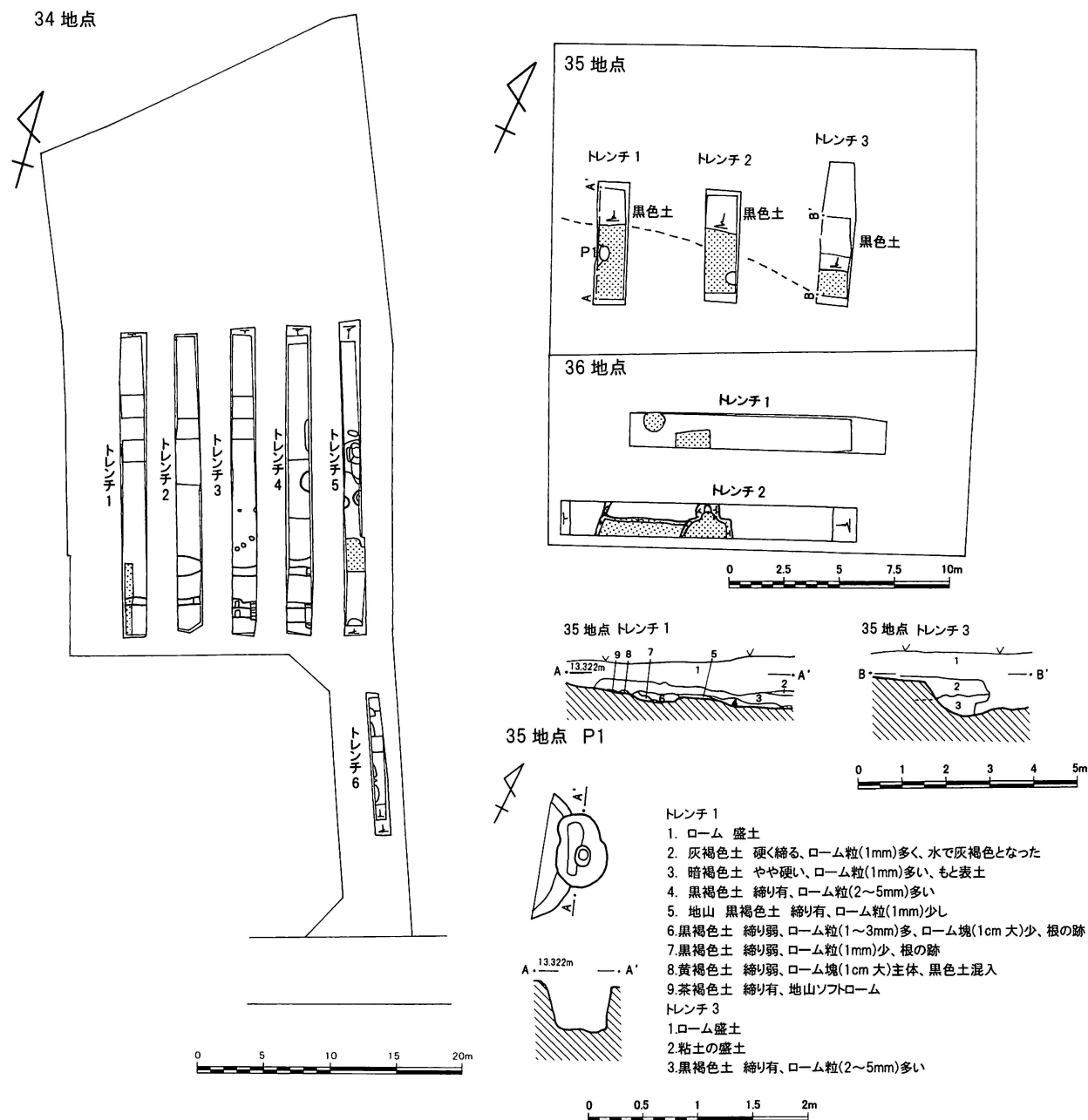
V 神明後遺跡第 36 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2008 年 8 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では住居跡や集石等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 9 月 2 日に行なった。幅約 1.5

m のトレンチを 2 本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、黒褐色の遺構らしき範囲を検出したので調査したが、自然の窪みであった。その他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで 60 ～ 100 cm を測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 106 図 神明後遺跡第 34 ～ 36 地点遺構配置図 (1/500・1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)

神明後遺跡第 34 ～ 36 地点



神明後遺跡第 34 地点全景



神明後遺跡第 34 地点トレンチ 2



神明後遺跡第 34 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 34 地点トレンチ 4



神明後遺跡第 35 地点トレンチ 1 ピット 1



神明後遺跡第 35 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 36 地点トレンチ 1



神明後遺跡第 36 地点トレンチ 2